

くすりの豆知識

—もっと知りたい! おくすりのこと!—

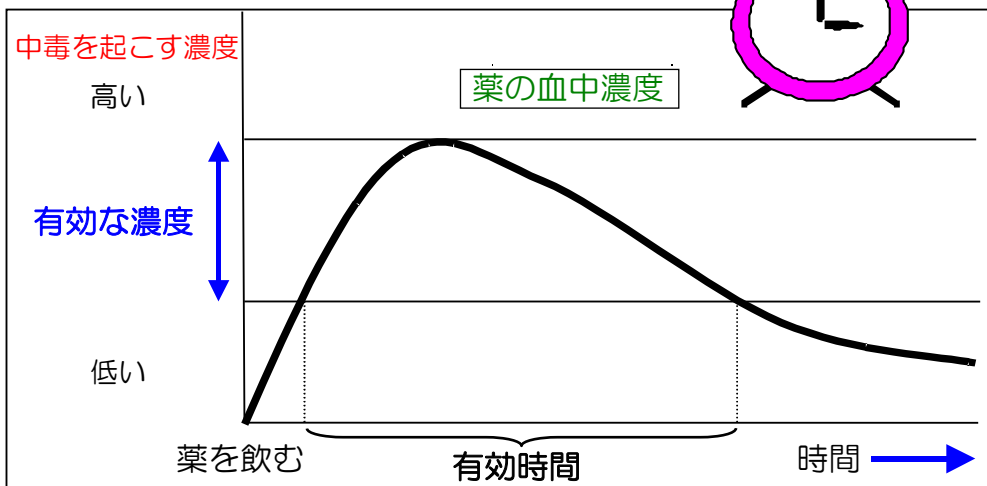
No.6 薬は、なぜ決められた時間に 決められた量を服用するのでしょうか

薬が効き目を発揮するためには、下の図に示すように、血液中の薬の濃度（血中濃度）が適切な濃度（有効濃度）に保たれていなければなりません。

薬は個々の患者さまに適した量が処方され調剤されていますが、もし量が少なかったり、決められた時間に服用せずに間隔があくと、薬の血中濃度が低くなり効き目が現れません。逆に量が多かったり、服用する間隔が短くなると、血中濃度が高くなって副作用が現れることがあります。

このため、薬を服用する時には、決められた時間と量を守ることが、何よりも大切です。決して自分の判断で服用を中止したり、薬の量を変更してはいけません。

薬の血中濃度の時間による変化



●もし、薬の服用を忘れたら

薬を服用するのを、うっかり忘れてしまったら、次のように対処しましょう。

服用忘れに気が付いた時



すぐに服用する



ただし、次の薬を服用する時間に
近い場合



忘れた1回分をぬかす

●決して、2回分を一度に服用しないで下さい。

2回分を一度に服用すると、血中濃度が高くなり副作用が現れたり、ときには中毒症状におちいることがあります。特に、糖尿病の薬は“低血糖”による意識障害などをひきおこす恐れがあるため、非常に危険です。困った場合には処方された医師に相談しましょう。

薬の服用を1回忘れたからといって、決して2回分を一度に服用しないように注意しましょう。

2018/10